

令和7年度 第3回 焼津市認知症対策連絡会議

資料

令和8年1月28日
焼津市地域包括ケア推進課

根拠法令：介護保険法第115条の45第2項第6号
認知症基本法第13条

4 協議事項

(1) 認知症施策推進計画の策定について

焼津市認知症施策推進計画の愛称

■愛称（案）

「あったか認知症プラン」

- 正式名称「焼津市認知症施策推進計画」では長いため、呼びやすい愛称があると良い。
- 計画の策定方針（R7.3）においては「（仮）焼津市オレンジプラン」としていた。
- 認知症のシンボルカラーとなる「オレンジ」が連想できるもので、心が温まるイメージができる「あったか」を検討。

●イメージ ほほえみプラン21

- 第11期焼津市高齢者保健福祉計画
- 第10期焼津市介護保険事業計画
 - 焼津市認知症施策推進計画
（あったか認知症プラン）

※ほほえみプランと一体的に作成する方針となっており、どのように一体化するかについては、介護保険運営協議会において検討する。

計画の策定にあたり

■手引きによる「都道府県・市町村の担当者に意識してほしい考え方・心構え」

1. 認知症と共に生きる人を権利の主体として、その基本的人権を本人および社会全体として確保・実現するという**権利（人権）ベースの考え**を根幹におく。
2. 施策は、**認知症の人の声を起点とし、認知症の人の視点に立って、認知症の人と家族等と共に推進する**。
3. まずは施策を立案、実施、評価する**行政職員が、認知症の人と家族等の暮らしや活動の現場に出向き、認知症の人と家族等と共に過ごし、対話を重ね、意見を交わす**。そのなかで**自分なりの「新しい認知症観」を獲得する**。
4. 認知症の人の声を起点に、各地域での課題を明らかにしたうえで、認知症の人と家族等と共に、地域のあるべき姿を描く。「暮らしやすい地域」に向けて、認知症の人と家族等および医療・介護に留まらない**多様な部局・関係者と共にまちづくりに取り組む**。
5. 計画策定そのものを目的化するのではなく、**地域のあるべき姿を実現**するための手段として活用する。
6. 国の基本計画に記載された内容について、網羅的にまんべんなく実施するのではなく、**各自治体の実態に合わせて優先順位を付け、重点的に取り組む施策を検討する**。
7. 地域のあるべき姿の実現に向けては、新規施策の実施にかかわらず、これまでに各自治体において実施してきた既存施策についても、**認知症の人と家族等と共に見直し、検討し直す**。



基本理念（スローガン）①

■設定における考え方

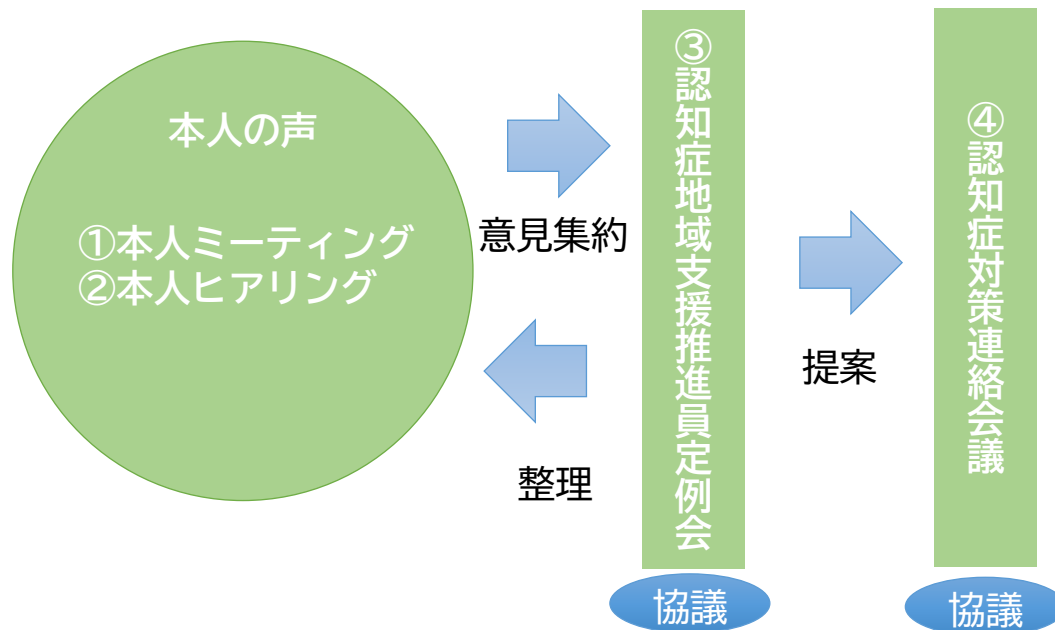
- ・ 認知症本人の視点に立ったものとする。
- ・ 「新しい認知症観」の浸透に向け、前向きなワードが入ると良い。
- ・ 軽度の認知症の人だけでなく、中度から重度の認知症の人にも添うものとしたい。
- ・ 本人ミーティング等の場を活用し、本人の声を聴取し、最大限参考とする。

■設定プロセス

- ① 本人ミーティング（令和7年5月～令和8年1月）の計8回での本人の声の収集。
※本人に望む暮らし方やありたいまちの姿等を聞く回を3回（7月、12月、1月）設けた。
- ② 計画策定における本人へのヒアリング（10月頃）として、2人から聴取。
- ③ 認知症地域支援推進員定例会での協議
- ④ 認知症対策連絡会議での協議



▲本人ミーティングにおける
グループワーク後の全体での様子



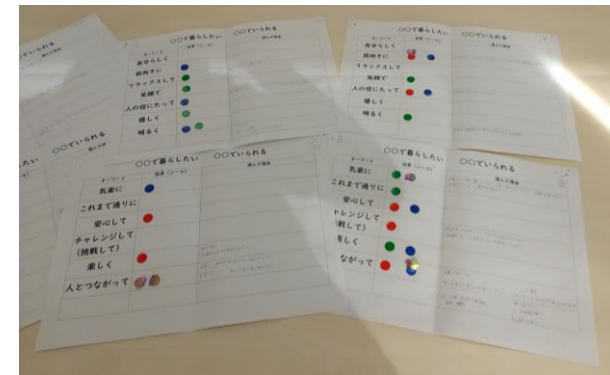
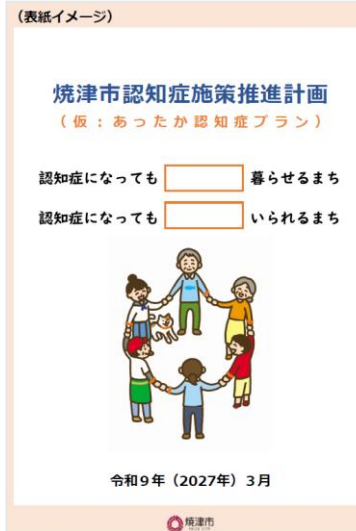
基本理念（スローガン）②

■1月の本人ミーティングの実施方法

- 市・認知症地域支援推進員により、これまでの本人ミーティング等を基に、スローガンに盛り込めそうなワードを事前に抽出。
- 当日は、各グループ2～3人程度の4グループとなり、「認知症になっても〇〇で暮らしたい・〇〇でいられるまち」の〇〇に入れたいワードを5つ以内で選んでもらい、その理由を聞いた。

【提示したワード】

- ① 自分らしく
- ② 前向きに
- ③ リラックスして
- ④ 笑顔で
- ⑤ 人の役に立って
- ⑥ 優しく
- ⑦ 明るく
- ⑧ 気楽に
- ⑨ これまで通りに
- ⑩ 安心して
- ⑪ チャレンジして（挑戦して）
- ⑫ 楽しく
- ⑬ 人とつながって



▲スローガンに入れたいワードに各自シール（5枚以内）を貼ってもらう形で進めた。

基本理念（スローガン）③

■ 1月の本人ミーティングの結果

	ワード	数	選んだ理由
1	・人とつながって	9	<ul style="list-style-type: none"> ・友達に会いたい。 ・仲間づくりがおもしろい。 ・多くの友人と長く付き合っていきたい。 ・ラジオ体操などで集まって話をするのが大事。
2	・安心して	6	<ul style="list-style-type: none"> ・差別されることがない社会であってほしい。 ・認知症となり社会とのつながりが無くなってしまったらどうしようと困惑するから。 ・日常生活で心配になることが色々ある。
3	・笑顔で	各5	<ul style="list-style-type: none"> ・笑顔で生きていたい。 ・ラジオ体操で朝笑顔で挨拶すると人との関わりを感じられる。
	・楽しく		<ul style="list-style-type: none"> ・みんなと仲間と楽しく過ごす。 ・自分の心持ち。 ・今の生活が続くと良い。
4	・明るく	各4	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しいこと、嫌なことがあるが気持ちを切り替えて明るく過ごしていきたい。
	・これまで通りに		<ul style="list-style-type: none"> ・今まで通り変わりなく暮らせるのがいい。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・前向きに ・人の役に立って ・気楽に 	各3	<p>(前向きに) ・家にいたら考え込んでしまう。人とつながり前向きにいきたい。</p> <p>(人の役に立って) ・少しでも地域に貢献したい。自分から動いて人とのつながりを作りたい。</p> <p>(気楽に) ・集まれる場所がほしい。</p>
6	<ul style="list-style-type: none"> ・自分らしく ・リラックスして ・優しく ・チャレンジして (挑戦して) 	各1	<p>(自分らしく) ・今まで通り一人暮らしでも暮らしていける。</p> <p>(チャレンジして) ・何でもやってみたい。</p>

スローガン案

■現スローガン

認知症になっても安心して暮らせる街 ♡焼津市

※H27頃キャラバン・メイトで意見を出し合い設定



■新スローガン (案)

みんながチーム 認知症を正しく理解し人と笑顔がつながるまち焼津

【設定における解説】

- ① 今後、まずは「新しい認知症観」を市民が正しく理解することが大事。
- ② 本人ミーティングで一番意見の多かった「人とつながる」を反映。
- ③ 本人ミーティングで多かった「安心して」を「笑顔」に包容。
- ④ 「人とつながる」と「笑顔がつながる」、そんなまちになると良い。
- ⑤ 先頭に「みんながチーム」と入れ、「みんな＝市民」とし、共通の目標や目的を持つ「チーム」となって、認知症に向き合っていくという姿勢。

施策体系① 施策設定における考え方

- 認知症施策については、現ほほえみプラン21 基本方針5「認知症の予防と共生に向けた体制の充実」のもとに、2つの基本施策①「認知症の予防の推進」、②「認知症と共生する地域づくり」を位置付け、5つの主な取組と16の結びつく事業を設定している。（P27参照）
- 現ほほえみプラン21は、国の認知症施策推進大綱（令和元年）における基本的な考え方である「共生」と「予防」をベースに、施策体系を設定した。
- 新たな焼津市認知症施策推進計画においては、国の認知症施策基本計画に掲げる都道府県及び市町村に関わる7つの基本的施策をベースに施策体系を設定する。国計画に沿って設定することで、国の施策との比較ができ、進捗管理（PDCA）等が行いやすくなる利点がある。
- 国計画の7つの基本的施策のうち、「認知症の予防等」は、日頃からの介護予防への取組や他者との交流機会の増加について、介護保険事業計画において記載する予定である。
- 予防については、市計画では、「認知症になるのを遅らせる」、「認知症になっても進行を緩やかにする」という視点で、国計画の「保健医療サービス及び福祉サービスの提供体制の整備等」と一体的に行うことが効果的であると考えられるため、「予防、早期把握・早期支援への取組の推進」として施策を一つに統合する。（P29参照）
- また、基本施策の推進するにあたり、本人、家族等、市民、支援機関、行政のそれぞれの「施策の推進にあたる基本的な姿勢」を今後整理したいと考えている。（P28参照）

施策体系② 現行施策

■現施策体系（第10期ほほえみプラン）

基本方針：認知症の予防と共生に向けた体制の充実

基本施策1：認知症の予防の推進

- ①早期発見・早期支援への取組
- ・認知症スクリーニングの実施
 - ・認知症あんしんガイドの活用
 - ・認知症初期集中支援チームの配置
 - ・認知症疾患医療センターとの連携



基本施策2：認知症と共生する地域づくり

- ①認知症本人の社会参加支援
- ・本人ミーティングの開催
 - ・若年性認知症の人の社会参加の支援
- ②地域の認知症への理解の促進
- ・認知症サポーターの養成
 - ・認知症月間での普及啓発
 - ・チームオレンジコーディネーターの配置とチーム創設・支援
 - ・認知症市民啓発講演会の開催
- ③家族等への支援
- ・認知症高齢者見守り事業（おみね輪プロジェクト）
 - ・認知症高齢者個人賠償責任保険への加入支援
 - ・認知症カフェの支援
 - ・認知症家族会との連携
- ④認知症本人やその家族を支える地域ネットワークづくり
- ・地域課題の抽出・解決（認知症対策連絡会議）
 - ・認知症地域支援推進員の配置

施策体系③ 新計画の検討

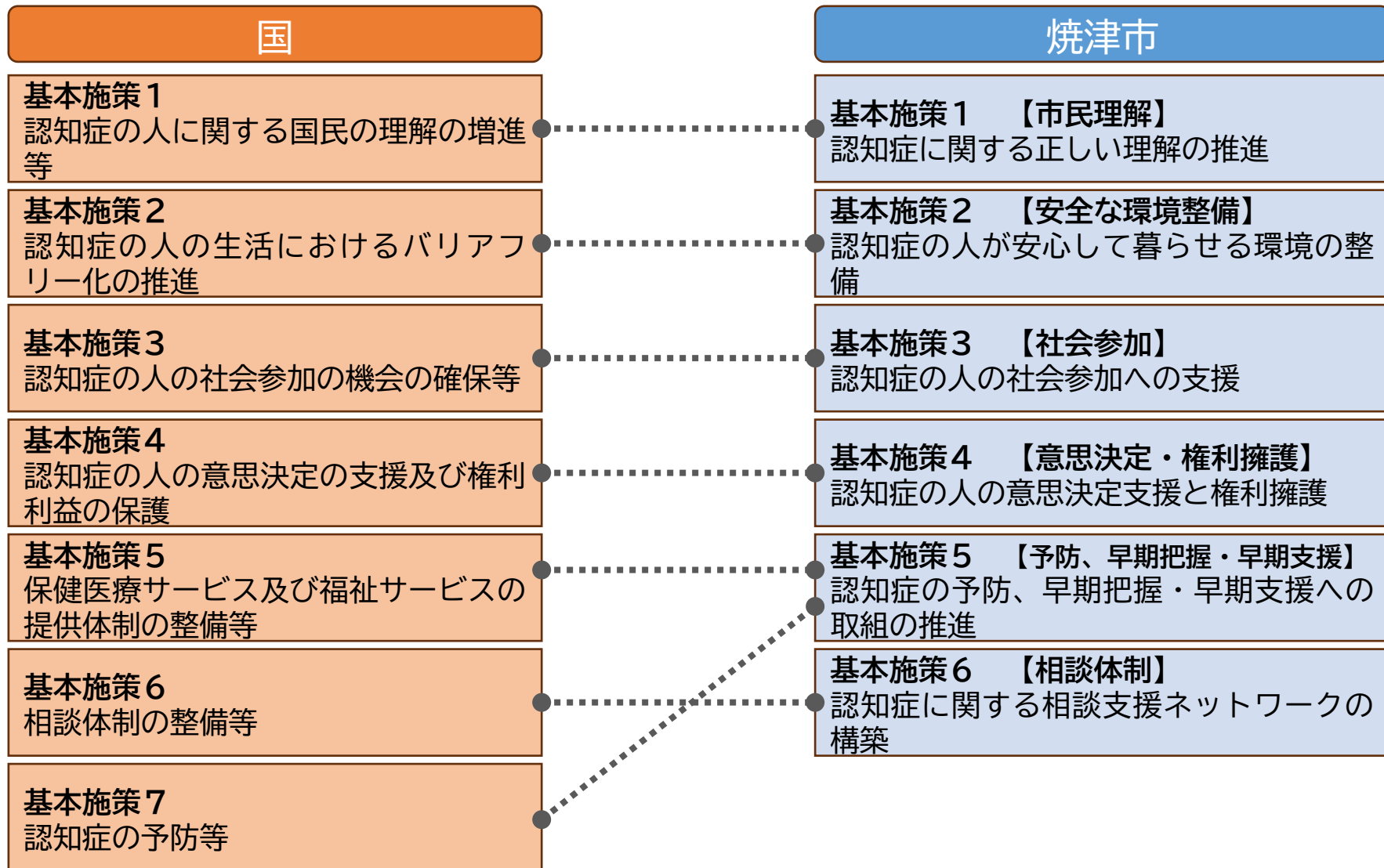
■新計画体系案

※国の認知症施策推進基本計画をベースに設定

基本理念	〇〇〇		
 施策の推進にあたる基本的な姿勢（向き合い方、考え方）	本人		
	家族等		
	市民	今後設定	
	支援機関		
	行政		
 基本施策	施策1	認知症に関する正しい理解の推進	市民理解
	施策2	認知症の人が安心して暮らせる環境の整備	安全な環境整備
	施策3	認知症の人の社会参加への支援	社会参加
	施策4	認知症の人の意思決定支援と権利擁護	意思決定・権利擁護
	施策5	認知症の予防、早期把握・早期支援への取組の推進	予防・早期発見及び支援
	施策6	認知症に関する相談支援ネットワークの構築	相談体制

施策体系④ 新計画の検討

■国の「認知症施策推進計画」における市町村の施策と焼津市の次期計画の施策の対応



施策体系⑤ 新計画の検討

■各基本施策における主な取組のイメージ（具体的な取組は今後の検討事項）

施策1 認知症に関する正しい理解の推進

- ・認知症サポーター養成講座の実施
- ・認知症市民啓発講演会の開催
- ・認知症月間における普及啓発
- ・「新しい認知症観」やMC Iに関する知識の普及

施策2 認知症の人が安心して暮らせる環境の整備

- ・チームオレンジ等と連携した日常生活への支援
- ・チームオレンジコーディネーターの配置とチーム創設
- ・地域における見守り環境の整備（認知症高齢者見守り事業）

施策3 認知症の人の社会参加への支援

- ・ピアサポート活動の推進
- ・本人ミーティングの実施

施策4 認知症の人の意思決定支援と権利擁護

- ・認知症の人を特殊詐欺・消費者被害から守る取組
- ・高齢者虐待防止ネットワークの構築と発生防止・再発防止
- ・成年後見制度等による権利擁護の実施

施策5 認知症の予防、早期把握・早期支援への取組の推進

- ・認知症初期集中支援チームの配置と支援
- ・認知症疾患医療センターとの連携
- ・認知症地域支援推進員の配置と支援
- ・認知症スクリーニングの実施

施策6 認知症に関する相談支援ネットワークの構築

- ・認知症カフェの開催支援
- ・家族等への支援
- ・認知症あんしんガイド（認知症ケアパス）の作成
- ・認知症対策連絡会議による協議

今後の予定

■令和8年度の認知症対策連絡会議（計画関連）について

R 8年度	日付	認知症対策連絡会議
第1回	6月30日（火） 予定	<ul style="list-style-type: none"> 基本理念（スローガン）の確定 施策体系の確定 基本的姿勢の設定 具体的な取組の検討 等
第2回	8月26日（水） 予定	<ul style="list-style-type: none"> 素案の審議
第3回	令和9年1月 予定	<ul style="list-style-type: none"> パブリックコメントの結果について 計画案の承認

■ほほえみプラン21（介護保険運営協議会）との関連性について

	4～5月	6～7月	8～9月	10～11月	12～1月	2～3月
介護保険運営協議会		第1回 6月	第2回 8月	第3回 10月	第4回 12月	第5回 2月
認知症対策連絡会議		第1回 6月30日 （火） 予定	第2回 8月26日 （水） 予定			第3回 1月 予定